

安心・安全
住み続けたい
暮らしを実現

知ら咲か



2016 MAY No.35

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>

連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

より多くの方が活躍できる環境づくり

平成二十八年総会 福島啓介さんを会長に選出

四月十七日、「知らせましょ・咲かせましょ」の第四回通常総会を開催し、地域情報紙の発行、粗大ゴミ回収を柱とした事業計画や新役員案等が承認されました。

地域情報紙発行と粗大ゴミ回収を柱に

「知ら咲か」総会が四月十七日、逆瀬川マンション集会室で開催され、全議案が、可決、承認されました。

今回の議案では、この三年間をふまえて、地域情報紙の発行、粗大ゴミ回収を中心として少しずつ質を上げ、より多くの方に加わっていただける環境づ

ご挨拶

住みやすい地域の実現のために

知らせましょ・咲かせましょ会長 福島 啓介



平成二十年度の知ら咲かの会長には、もちろん推挙されました。何分にも浅学菲才のうえ高齢の身、ご期待の役務を全うする自信はありませんが、ご指導をお願いし、お引き受けする事になりました。よろしくご支援ください。

知ら咲かの活動重点方針として、次の三点を掲げます。

- (1) 地域住民の安心と安全
- (2) 会員の増加
- (3) 地域の情報発信を強化

この会の存在はまだ地域によく浸透していません。それには参加していただく会員数を増加しなければなりません。地域住民数からみて百名の正会員数を目標にして獲得活動をしていきます。百名になれば強力なボランティア団体として認識されると確信されていくと思います。それに我々が住民サー

ビスをこころがけ、知ら咲かがこの地域に必要なボランティア団体と認められてきたため、滅私奉公の精神で努力していくことが大切です。

皆さまからご好評をいただいております。粗大ゴミの収集サービスですが、これを一層力を注ぎ、とくに自力で処理が困難な高齢者の応援に注力し、頼りのある知ら咲かにしていきたいと考えています。特に家内に入りゴミをだしたり、戸口もゴミを処理したり、行政のサービスで行き届かない点にもお手伝いしていきたいと思っております。

広報紙知ら咲かをより地域に密着した情報紙として内容を充実させていきたくて考えています。紙面も美しいカラー化して親しみあるものにしていきます。何卒皆様の情報や記事をお寄せいただきたいとお願いたします。行政からのお知らせも丁寧に理解しやすくお伝えしていきます。

以上微力ですが、住みやすい地域の実現のため努力していきます。

知ら咲か会員継続、新規加入お願い

会費は年会費となっています。継続登録、新規登録お願いします。尚、加入は任意で強制ではありません。会費納入は本号折り込みの郵便振替用紙でお願いします。

種別	会員条件	主体	会費(年)
正会員	会の目的に賛同し入会(議決権あり)	個人	1口 3,000円/年
		団体	1口 20,000円/年
賛助会員	会の事業を賛助するために入会	個人	1口 3,000円/年
		団体	1口 20,000円/年

- くりを活動テーマと致しました。組織でなく住民を優先した会則に「知ら咲か」の原点は隣さん、ご近所での支え合い、助け合いが当たり前に行われる「まち」への思いです。そのための情報発信、粗大ゴミ回収等の事業と、地域サポーターの拡大です。組織保身に陥らない住民目線の会則へと改定をいたしました。
- 二十八年役員**
- 会長 福島啓介 (逆瀬川マンション)
 - 副会長 山中一弘 (アヴェルデ)
 - 会 計 尾川三代子 (逆瀬川マンション)
 - 役 員 高橋 修 (パークマンション)
 - 篠原和豊 (アヴェルデ)
 - 山口啓介 (アヴェルデ)
 - 藤田 浩 (域外協力)
 - 監 事 八十庸子 (アヴェルデ)
 - 田村美喜男 (アヴェルデ)

知らせましょ・咲かせましょ 第 4 回通常総会報告

4 月 17 日開催の「知らせましょ・咲かせましょ」の通常総会の議事では 27 年度の事業報告、収支決算報告、28 年度事業計画、事業収支予算、会則改定、役員候補案がそれぞれ上程、審議され全案が賛成多数で可決承認されました。以下、承認された各案につき報告致します。



山中さんが議長となり議案審議



議案説明する篠原さん、高橋さん



監査報告は福島さんと八十さん

第 1 号議案

平成 27 年度事業報告

1. 事業の成果

平成 27 年度計画では、「法人成り（NPO 法人等）への基盤強化」を謳い取り組みをスタートいたしました。しかし、日々の活動の中で、多方面にわたり検討を加えてきましたが、未だその段階には達していないとの結論にいたり通常の活動をしっかりと行うことで組織を強化していくことに専念いたしました。

活動自体では計画の柱となる 1. 人材層の充実、2. 財政基盤の充実、3. 活動進化拡充の 3 つのテーマのもとに日々、挑戦致しました。

人材層の充実に就きましては、各事業活動ごとに知識、技能特技、経験をお持ちの方や今後、チャレンジしたいという方へのお声がけやネットワークを利用した呼びかけを行いました。多少、新たに活動していただける方が加わっていただきましたが微増の段階であります。

財政基盤の充実に就きましては、会員会費としてご支援いただく方法に加えて「寄付」という形で金額の多少に関わらずご協力いただける方法も加えました。又、補助金も方法としては上げていますが、補助金頼みの活動は長続きしないのではという思いで今期はこの方法は採用しませんでした。他方でこの地域に寄与したいという思いがある企業や店舗様の協力を得て広告収入も大きな収入源とさせていただいています。

支出面ではできるだけ精査検証した使用を心がけていますが、活動中に思わず膨らんでしまった粗大ゴミ回収事例もありました。綿密な計画の必要性も感じた期でした。

活動進化拡充というテーマでは広報紙「知ら咲か」の毎月発行体制が定着されたことがまずもっての成果であります。地域に根ざし、地域の方々の顔が見え、そこからつながりが生まれ、助け合い・ささえあいの明るく楽しいまちへの記事づくりを毎号心がけ、多くの方々のご協力での活動を続けています。

もう一つの活動の柱が粗大ゴミの回収事業です。8 マンションで 41 世帯の方々からご要望があり、10 月 8 日に回収を行いました。ご要望者様からは多くの感謝の言葉が寄せられました。ただ収支面では 23, 840 円を会費から持ち出しをすることとなり反省点が残りました。

計画外ではありましたが、「夏休み子どもラジオ体操」開催への協賛協力を行い、これからのこの地域の活性化への足がかりを見つかるヒントも得ることが出来ました。

年間の活動で特筆すべきものはありませんが、基盤強化を探る地道な活動を続けたことで今後の果実回収に繋がるものと考えています。



議案審議風景①



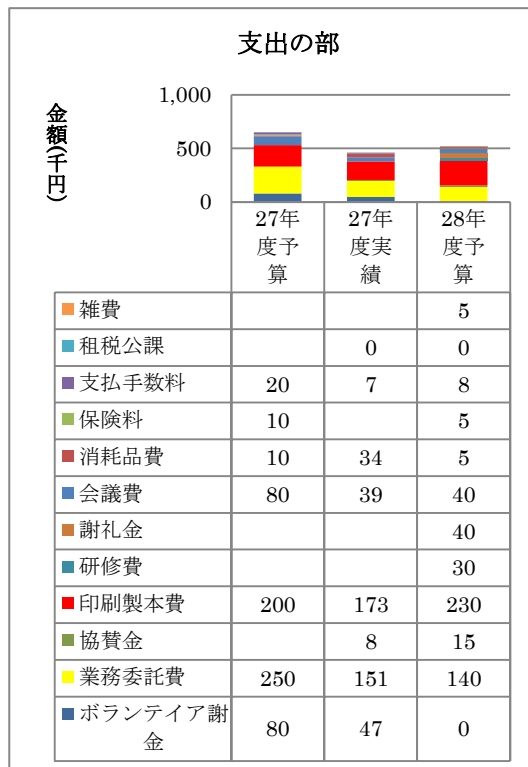
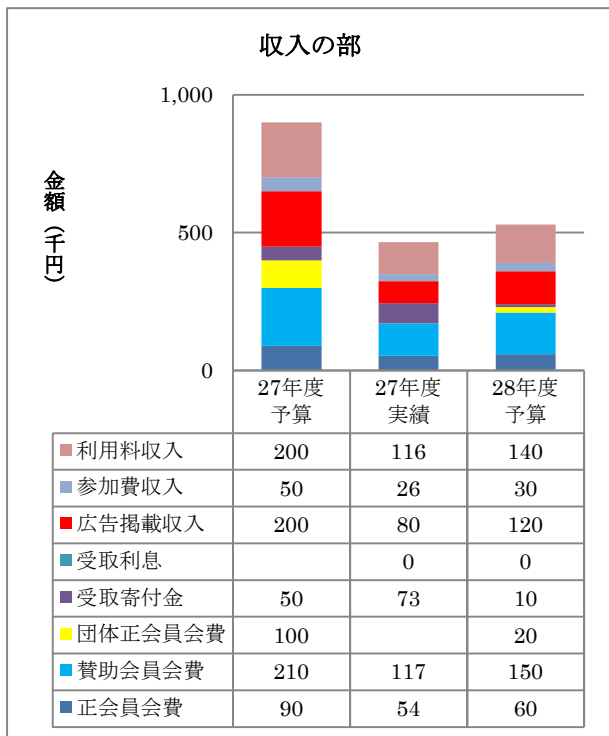
尾川さん（中央）役員選任案



議案審議風景②

第 2 号議案・第 3 号議案収支関係

収入は会費収入、事業（粗大ゴミ回収）の利用料、広告掲載料及び寄付金が中心です。
支出は情報紙の印刷と粗大ゴミ回収費用が主たるものとなっています。



平成 28 年度は 3 年間の反省をふまえ、地道にレベルアップできる活動をやっていきます。

第 3 号議案

平成 28 年度事業計画書（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

事業実施の方針

～ 少しだけ質を高め、より多くの方が活動できる環境づくり ～

「知らせましょ・咲かせましょ（知ら咲か）」は本年 2016 年に 4 年目を迎えます。石の上にも 3 年の言葉通り、この 3 年間の中で紆余曲折もありましたが、地域情報紙の発行、粗大ゴミの回収という目に見える形での成果も上げられるようになってまいりました。

28 年度も、2 大活動を中心に、少しずつ質の向上と、より多くの方に活動に加わっていただける環境作りをテーマとして取り組みます。

地域の皆様とともに歩める「知ら咲か」を意識して会則改定をしました。

第 4 号議案

会則改定の件

○変更のポイント

1. 会則内の名称から「白瀬川ブロック」及び「ブロック」の表記を削除
2. 活動。事業の種類をより明確化
3. 入退会規定の変更と資格期間を単年度に変更
4. 一般役員数を「5～10名」を「若干名」に変更
5. 団体賛助会員の会費を 20,000 円/年に変更



毎月、情報紙「知ら咲か」の発行作業を有志のみなさんで行っています。

左の写真は情報紙を二つ折りにする機械を囲んで撮影したものです。無償のボランティア作業ですが、ご協力いただける方を募集しています。地域の人々との交流の場となっています。

4 月 9 日 (土) 逆瀬台マンション すみれクラブ (老人会)

ウクレレとマリンバの演奏会が開かれました。
20 名のお客様が楽しいひとときを過ごしました。
ウクレレの二宮さんと真野さん、マリンバの井上さんは、中学生の頃習って以来 50 年ぶりに弾かれたそうですがとても力強く、リズムカルに弾かれ、特にトルコ行進曲は聞いていて心が弾みました。お客様の中には廣瀬さん (92 歳) も前列の真ん中に座られて楽しまれていました。すみれクラブの催しにはよく参加するそうです。



逆瀬台マンションシニアピンポンクラブ

(開催日時 毎週月曜 1 時~4 時)

1 時に会場にお邪魔しました。すでに数人の方がおられ、準備万端、整っていました。準備体操が始まりスタートです。

次々と人が集まります。いつも 10 人~15 人が参加されています。最初は肩慣らしでシングルで打ち合います。

2 時半頃からダブルスの試合に入ります。今日は男性 6 人、女性 6 人がゲームと言っても、真剣勝負です。

男性はほとんど 80 歳以上です。しかしとても若々しく身をこなします。女性は、男性に歳では勝てないが、勝負はなかなかのもので負けていません。

白熱の戦いです。すごいと思いました。ある人がいいました。こんな近くで、こんな楽しい事が出来るとは、夢にも思わなかった。

「このピンポンクラブに参加出来て本当に良かったし喜んでます」と話されました。胸が熱くなりました。どなたでも参加でき、スポーツを通して、元気に楽しくなれる事は、素晴らしい事だと思いました。



逆瀬台マンション「桑の実」歌の会

(開催日時 毎月 1 回 第 3 月曜日 10 時~12 時)

今月は 10 人のお仲間が集まって懐かしい歌をアカペラで歌います。まず声だしから、大きな声で北原白秋の詩を読みます。

1 曲目は日本の代表曲「さくら」です。みんなでうたいます。誰かが言います「少し、声が低いみたい」又、誰かが言います「お経みたい」「もう少し高い声で歌いましょう」こんな具合に歌って行きます。歌と歌との間におしゃべりが入ります。昔の事、今の事、楽しそうに、それぞれが声をだす。

歌も、色々です(大正 昭和)。美空ひばりさんの「悲しい口笛」 江利チエミさんの「テネシーワルツ」 朧(おぼろ) 月夜 汽車 等々、それぞれの歌の説明もあります。その中で黒一点の塩見さん(86 歳)は、女性に囲まれて楽しそうです。

人生経験の豊富な方々の集まりです。月 1 回では物足りない気もしますが、1 回だから良いのかとも思いました。

毎月桑の実歌集のプリントを作成されています。ご一緒させて頂き楽しかったです。

マンション コミュニティライフ 紹介



満開の桜の中 恒例のおまつりが開催されました。

お世話する人もお客様も、ゆっくり楽しめるような、ご近所の交流が出来ました。

お餅も 焼きそばも チジミも 完売しました。来年もさくらの花の下に元気にとぞえますようにと思いました。



マンション生活の中で気がつかずにご近所に迷惑をかけていることがあるかもしれません。紙面の都合で今号と次号の 2 回にわたり、寄稿記事「騒音トラブルを考える」を掲載致します。

マンション生活での騒音トラブルを考える (前編)

阪急逆瀬台アヴェルデ 都築直幸

国土交通省が 5 年毎にアンケートを実施し、その結果を公表している「マンション総合調査結果」(平成 25 年度)によりますと、居住者間のマナーをめぐるトラブルが 55.9%と最も多くなっております。

マナーをめぐるトラブルには、違法駐車・違法駐輪、生活音、ペット飼育などがあります。



ここでは、上記の内、生活音(マンションの室内で発生する騒音)について考えてみます。

音は、空気伝搬音(空気中を伝わる音)と個体伝搬音(建物の床や壁・天井などの個体を伝わる音)に分けられますが、マンション内での騒音トラブルの多くは、個体伝搬音です。

例えば上階の足音、物を落とした時の音、ピアノの音なども空気伝搬よりピアノの足を通して床に伝わる、個体伝搬音が問題になるケースが多いようです。

ピアノの音による騒音トラブル

マンションでピアノを弾こうとする人は、まず防音装置を施す必要があるでしょう。その場合、専門業者と相談して工事を行うことになると思いますが、一定の効果は得られるでしょうが、ピアノの音の内、上記の固体伝搬音を完全に防音、遮音するには工事費が高額になります。



そこで考えられるのは、住民の合意により共通のルールを作る。例えば管理規約で、ピアノを

弾こうとする人は、できる限り防音装置を施す。ピアノを弾く時間を一定時間内に限定する等が考えられます。

過去において、階下のピアノの音がうるさいと腹を立て、母子 3 人を殺害した事件が発生しております。

フローリング床による騒音

最近の新築マンションの多くは、最初からフローリング床の場合が多いようですが、今迄のマンションはカーペットや畳敷きが多かったため、それをフローリング床に変更する住戸が増えています。その結果、スリッパで歩く音、椅子の移動や、物を落とした際、下階に大きく騒音(床衝撃音)となって響くことがあり、上下階でトラブル発生の原因になる例が多いようです。



床衝撃音には物を落としたり、子どもがとび跳ねた時などの、ドスンという鈍くて低い音(重量床衝撃音)と、スプーンなどを落とした時などのコツンという比較的軽く高い音(軽量床衝撃音)がありますが、じゅうたん等の柔らかい敷物を敷けば、軽量床衝撃音はほとんど響かなくなります。重量床衝撃音にはあまり効果がないようです。

フローリング床材の遮音性能は「L-40」[L-50]などと表示されております。数字が小さくなるほど、遮音性能が優れているとされています。フローリング床に張り替える際は、充分に調べてから行って下さい。

- 引用・参考文献
- | | | |
|--------------------------|--------|--------|
| 1. マンション管理の「なぜ?」がよくわかる本 | 住宅新報社 | |
| 2. マンション紛争の上手な対処法—第 4 版— | 民事法研究会 | 3. その他 |

裏山に宝塚最高峰が・・・

宝塚市域は、面積約 102 平方キロで東西約 13 キロ、南北約 21 キロと南北に細長く延びています。市の北部には古宝山系、布見ヶ岳山系、竜王山系、今井岳山系が続き、中心部には大峰山系。552m の大峰山のほか検見山、安倉山など 400m を超える峰が連なっています。住宅地の北側にそびえる中山山系の最高峰は 478m の中山。

南西部の六甲山地は傾斜がきつく、岩倉山、譲葉山、岩原山、行者山が連なっています。このうちの、**岩原山が標高 573m で市内最高峰**なのです。白瀬川地域からそう遠くない所です。

阪急電鉄の岩倉山反射板



岩倉山山頂の祠

中山山系の山並み



行者山、行者山東観峰と眺望



歩いた所の眺望
岩倉山から南へ



二つの譲葉山



譲葉山北峰の祠



宝塚最高峰 岩原山



白瀬川両岸地域

宝塚南部六甲山の山並み



白瀬の自然

ふじ



宝塚西高校南側逆瀬川堰堤の藤棚がゴールデンウイーク前後に紫色の花を咲かせます。

棚の下にはベンチもあり休憩にはもってこいの場所です。

一ヶ月前には桜が咲き揃っていましたが、この紫色も劣らず目を楽しませてくれます。



「フジ」は吹き散るの意味だそうです。ノダフジは本州、四国、九州の山野にはえ、庭に栽植するつる性の落葉低木です。幹は長く伸び、他物に右巻きにつき、初めは毛がありますが、のちに無毛になります。花の後に 10 cm ~ 19 cm くらいの豆果ができます。又、ヤマフジは茎は他物に左巻きにちくそうです。

閉店のお詫びとお知らせ

白瀬川沿い 8 マンションの皆様、こんにちは。

B A S E 逆瀬台店の西村です(^_^)

今回は、B A S E 逆瀬台店閉店に対するご挨拶とご報告を致します。

当店は 4 月 10 日をもって急遽閉店させて頂きました。

理由を申し上げますと、季節による気温の上昇により商品の鮮度管理が困難になったためです。

昨年と違い今年は電気が通り、クーラーによる温度管理ができるようになる予定だったのですが、調整が間に合わず当店の判断で閉店することを決めました。

特に店舗近隣のお客様には急にご不便をおかけする事となりましたこと、深くお詫び申し上げます。

そんな中、店頭販売にて商品のご提供ができなくなったことに対し、ファミリーマート逆瀬台 1 丁目店様より、a x i s (アクシス) 様 (アヴェルデ 4 番館 1 階) の一部を宅配受付のスペースとして活用させて頂けるお話をいただきました。

実店舗はなくなりましたが、スペースを提供していただく事により用紙にて注文を受け付け、当日宅配することが可能になりました(^_^)

始まった際はご安心して購入していただけるよう、スタッフも受付時間内は常駐させるつもりでおります(^_^♪)

この宅配を始めるにあたり、ニーズを把握するためにアンケート用紙を折り込みチラシにてご用意いたしましたので、上記の宅配を今後希望される方はファミリーマート店内に設置しております専用 B O X に投函してください(^_^)

ネット販売での利用をご希望の方は、メール (チラシにて記載) にてお伝えください(^_^)/

これからも末永く地域の皆様が必要とされるよう取り組んで参る所存です。

ありがとうございました。

【編集後記】

四月十七日に「知ら咲か」総会を開催しました。三年を経過した「知ら咲か」ですが、発足当初の目標は未だ遠い彼方の存在と言っているでしょう。

しかし、この三年間で誇るべき活動資産も生まれてきています。広報紙として毎月発行を続けています。多数の取材活動や印刷を担っていただく方々のおかげでもあります。粗大ゴミ回収も毎年続けることが出来ています。回収で前期に若干の赤字を出したことは、今後の教訓にもなりました。

会則の改定も、組織のあり方を示す重要な議案でありました。「知ら咲か」は地域の普通に暮らしている方々が、少しずつ思いを持ち寄って試行錯誤しながら、歩んでいるボランティア的な団体です。誰もが活躍できる組織へ歩を進める会則の改定にしたいと思っています。

本年度も、皆様方のご協力、ご支援、ご参加をお願い致します。

(し)